

議会だより

東くらし

第131号

平成28年
11月10日発行

発行 鹿兒島県東申良町議会
編集 議会広報編集委員会
電話 0994-63-3132(直通)

上手に踊れたね

～第38回文化祭

豊栄保育園和太鼓～

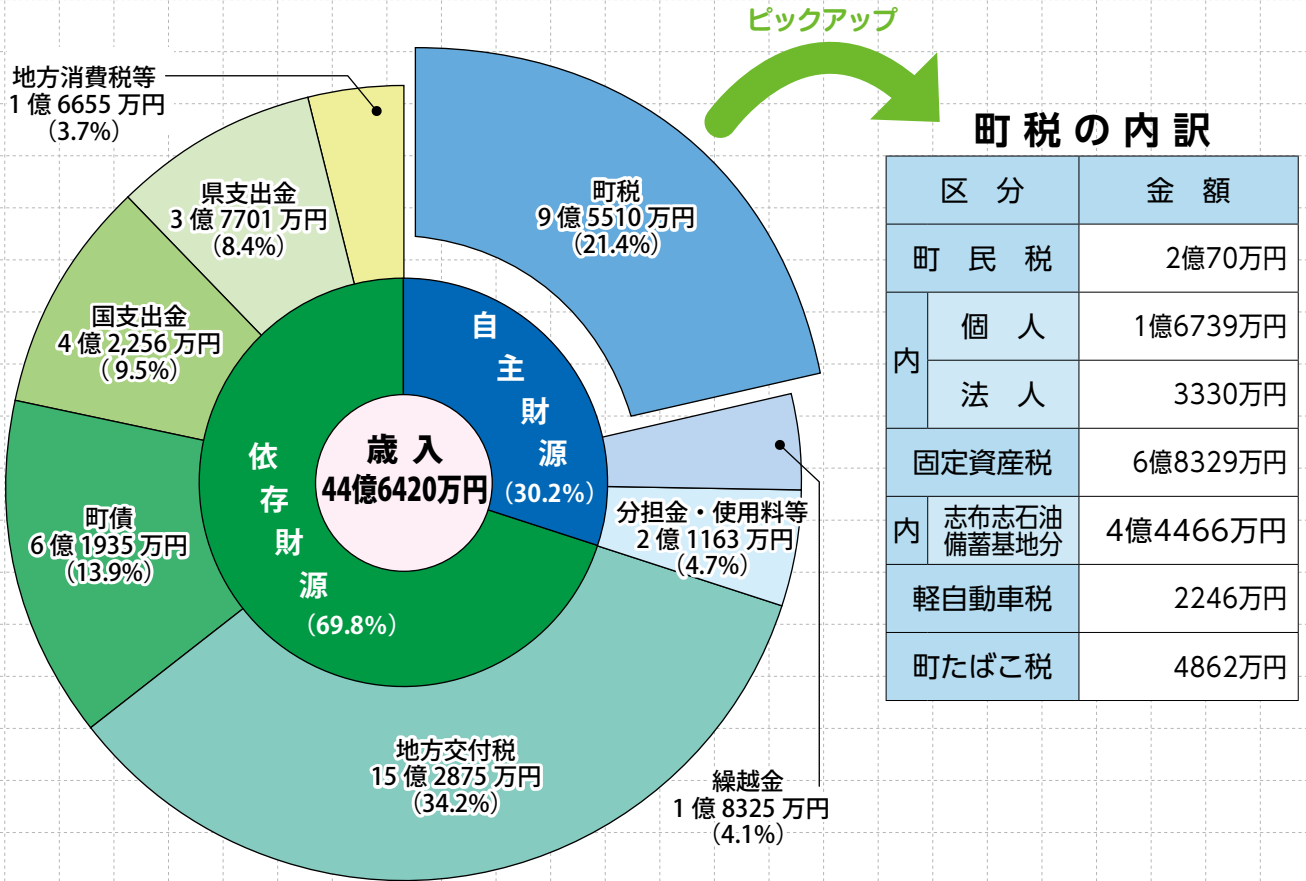
平成27年度決算審査報告	2
池小校舎増築工事契約決まる	7
「一般質問」 土木行政について等	8
生活しながら家が動く「ひき家工事」を調査 ..	17

ての会計を認定

平成 28 年第 3 回定例会は、**9月9日から9月27日までの19日間**の会期で開きました。今定例会では、報告 1 件、単行議案 4 件、補正予算 6 件、工事請負契約 1 件、決算認定 6 件、陳情 4 件等を審議しました。一般質問には 8 人の議

員が登壇し、執行部に質問を行いました。また、付託された 6 会計の決算を決算審査特別委員会
で内容を審査し、全会一致で認定しました。

なお、平成 27 年度一般会計歳入歳出の決算の
あらましは次のとおりです。



※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

健全化判断比率の区分	早期健全化基準	平成27年度
①実質赤字比率	15.0%	-
②連結実質赤字比率	20.0%	-
③実質公債費比率	25.0%	6.1%
④将来負担比率	350.0%	-

※①と②は黒字のため「-」で表示しています。

●**財政は良好**

平成27年度東串良町健全化判断比率(左の表)は、全て早期健全化基準以下でした。このことは、東串良町の財政が良好な状態を示しています。

●**自主財源対前年度比約12万円減**

主な理由は、前年度繰越金の減です。なお、志布志石油備蓄基地にかかる固定資産税(国有資産等所在市町村交付金)は、年々減額の傾向にあります。

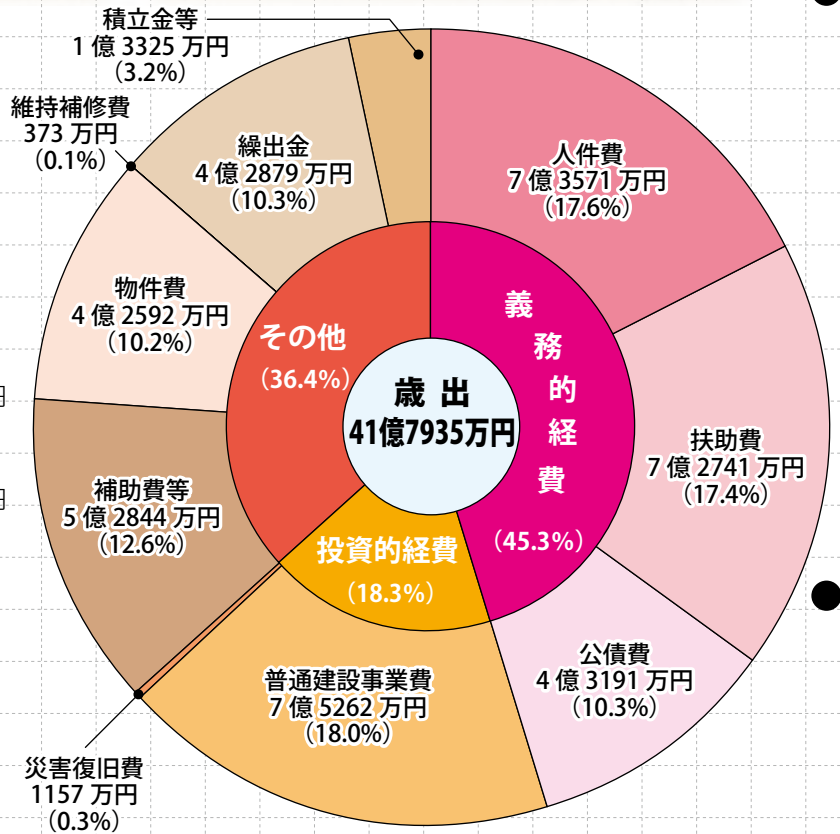
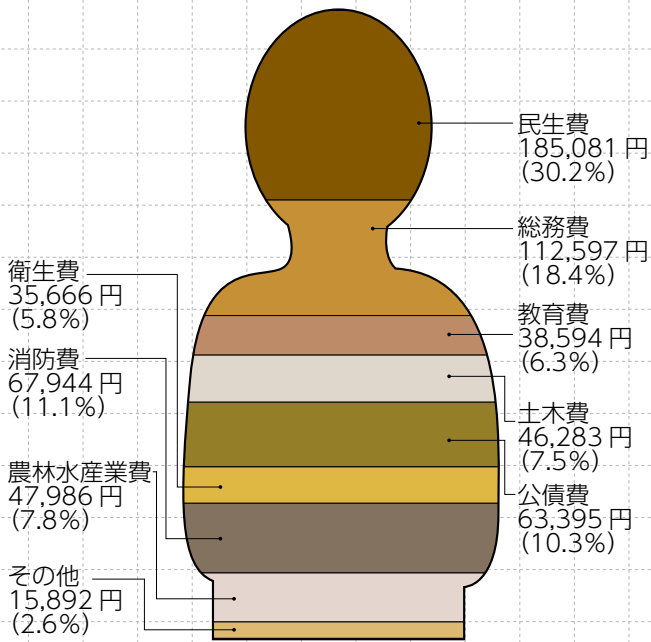
ふるさと納税は前年度比**30倍**(4108万円)と大幅に増額しています。

平成28年
9月議会

27年度 すべ



町民1人あたり
約**61万円**使いました。



平成27年度の 目玉事業

- ★ 臨時福祉給付金給付事業
- ★ 道路新設改良費の石油貯蔵施設立地対策等交付金事業 (池之原永峯線)
- ★ 改良舗装工事(安留柏原線)
- ★ コミュニティ広場に新たに遊具を設置
- ★ 下伊倉に津波避難タワーを建設
- ★ 各家庭の個別受信機を更新
- ★ 柏原小学校の飛散防止フィルム施工工事
- ★ 池之原小学校屋上の防水シート補修工事

町の借入金と貯金

平成27年3月末現在の状況です。金額は一般会計と特別会計の合計です。

▼ 町債 (借入金)

50億1579万円
町民1人あたりに換算すると74万円です。

▼ 基金 (貯金)

20億7090万円
町民1人あたりに換算すると30万円です。

平成27年度特別会計 決算を全会一致で認定

決算額は次のとおりです。

平成27年度特別会計歳入歳出決算額 (単位：千円以下切捨て)		
会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険特別会計	14億1647万円	13億4931万円
介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	9億3398万円	8億7615万円
介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計	594万円	420万円
後期高齢者医療特別会計	8819万円	8759万円
簡易水道事業特別会計	2億7392万円	2億3630万円

決算審査特別委員会で決算・事業効果を審査

決

算審査は、本委員会の審査結果が執行部において次年度の予算編成や行政執行に生かされるよう、9月の会期中に実施しています。報告の一部を掲載します。

審査における主な着眼点

- ★ 予算執行は計画的かつ効率的に行われたか
- ★ 予算計画に対する実績は妥当であり、かつ行政効果や経済効果はあったか
- ★ 町民にとって事業効果があったか

現地調査箇所

- ★ 岩弘上羽坪坂線災害復旧工事
- ★ 石油貯蔵施設立地対策等交付金事業の街道添線改良舗装工事
- ★ 柏原小学校東門線改良舗装工事

事業の評価

★ 地方公共団体金融機構を使った資金運用が始まっている。今後有利な運用を望む。

★ 税の公平性の観点から、滞納者の給与及び口座の差押えを実施し、収納額の実績が上がっている。また金融機関での公共料金引き落としが定着してきている。

★ 東串良町ツーリズム推進協議会では修学旅行生、総勢45名を受け入れるなど実績ができた。今後も会員を増やして受入体制を整えて欲しい。

★ 広域農道等の法面コンクリート工事については雑草等の対策として評価できる。なお、コンクリートのつなぎ目等に生える雑草等の除去については、シルバー人材センターの活用を望む。

★ 本町には他町にない献血推進協議会があり、その活発な活動により採血者が増えるなど社会貢献している。

★ 30歳～39歳の国保加入者も健診料を無料化するなど、生活習慣病予防への早期介入に取り組み、その成果として健診率の向上につながっている。

★ 重複・頻回受診者への訪問指導は、訪問することでの町民とのふれあい等、波及効果も大であると考えられるので継続しての実施を検討して欲しい。

★ 小中連携による学校間での相互授業参観や外部講師の招聘により、小・中学生の学力向上が図られている。



中学校教員による少学6年生への出前授業



県内自治体で初めて建設された
津波避難タワー（下伊倉）



読書会を開催するなど、
読書意欲の向上に努めている

政策的提案

財源確保

- ★下伊倉地区津波避難タワーを設置し、逃げ遅れ者への対策ができた。
- ★図書室の利用者数が年々増加し、年間貸出数が1万冊を超えた。土日や夏休みの開館など町民の読書意欲の向上に努めている。
- ★古墳の測量がほぼ終わりとつあり、今後の古墳整備に向けて専門員の配置など期待したい。
- ★消防自動車の計画的な購入により、非常時消防力の向上につながっている。

- ★石油立地交付金事業については、一般財源化への取り組みとして全国石油備蓄協議会等での積極的な要望活動を望む。
- ★本町の安定した行財政運営のためには、今後とも地方交付税や国有資産等所在市町村交付金、石油貯蔵施設立地対策等交付金等の制度維持を引き続き政府に強く求めていく必要がある。また、町税等の収入未済額の解消など自主財源の確保に万全を期すことを求める。
- ★補助団体において、決算繰越額が多額となっている団体を散見した。補助金交付の趣旨を十分に周知す

- ★施設園芸は本町の基幹作物である。今後も更なる振興を図るうえで、園芸指導員の配置を強く求める。
- ★児童から高齢者までの福祉、各種検診等の保健衛生などと福祉課の業務は多岐にわたっている。更なる職員配置も必要だが、福祉と保健を分けるなど福祉課の体制について見直す必要がある。

地域の活性化

- ★柏原地区における定住促進住宅など、人口増の課題は喫緊の課題である。住民課の資料によると、柏原と池之原の人口比率は現時点で4対6であり、将来的にはこの比率がますます大きくなる。町当局と議会、町民の知恵と工夫を総結集してこの課題に取り組みまねばならない。
- ★総務省の事業である地域おこし協力隊の募集と活用について、十分

住みやすい町づくり

- ★姉妹都市の協定を結び、人と物の交流が図られる政策も必要である。
- ★中央地区の有収水率は71%である。漏水等が危惧されるので、その対策に万全を期して欲しい。
- ★校長住宅、教頭住宅、教職員住宅の整備を図るべき。
- ★町内の公共施設のトイレの洋式化を順次実施されたい。
- ★海抜の低い所へは町民の生命を守る対策として、順次、避難タワーを整備すべきである。
- ★学校給食費の集め方で子供会のない地域もあり、金融機関への振り込みや役場会計室での取り扱いなど検討されたい。

その他

- ★保健事業の適正な事業推進や医療費の低減を図るため、保健師の積極的な巡回や管理栄養士を置いての予防事業、またジェネリック医薬品の普及に力を入れるべきである。
- ★学校給食に米飯が取り入れられているが、給食センターでの炊飯ができるように検討されたい。

補正予算



来年もたくさんの新入生が見込まれる（池之原小学校）

一般会計及び4特別会計補正予算が町長より提案され、全会一致で原案可決しました。
今回の補正予算は、池之原小学校校舎

増築による連絡通路設置に伴い、老朽化した渡り廊下の整備のための工事費のほか、公営住宅の修繕料やLED照明灯設置などの予算が盛り込まれました。

平成28年度補正予算

（単位：千円未満切り捨て）

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	1億5013万円	46億3586万円
国民健康保険特別会計	336万円	13億7296万円
介護保険事業（保険事業勘定）特別会計	90万円	9億5848万円
介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計	173万円	741万円
後期高齢者医療特別会計	254万円	9586万円

「一般会計」歳出の主なもの

- * LED照明灯設置工事 1044万円
- * 公用車購入費
（集落支援員・柏原簡易郵便局関係） 376万円
- * 障害児給付費 330万円
- * 赤ちゃんすこやか支援事業
（出生祝い金） 163万円
- * 臨時福祉給付金返還金 108万円
- * 池小渡り廊下整備に係る工事請負費 320万円
- * 公営住宅修繕料 160万円
- * 松原団地排水路改修工事請負費 300万円
- * 物産館修繕料（高圧ケーブル更新） 101万円
- * 堆肥センタータイヤシヨベル
ベルトコンベア修繕料 134万円
- * ふるさと納税報償物品費 1500万円

（株）三栄ハウジングが落札

池小学校舎増築工事請負契約

全会一致で可決

6業者が指名競争入札を行い、落札業者が決まりました。そこで、契約締結にあたり、*議会の議決を必要とするため、町長より議案の提出があり、全会一致で可決しました。



契約の相手 株式会社 三栄ハウジング
代表取締役 永田 康朗
契約金額 5184万円（内消費税384万円）

児童数の増加により校舎が増築される池之原小学校

*地方自治法等の規定により、予定価格が5000万円以上の工事契約の締結は、議会の議決が必要

提出議案（予算以外）の採決結果

議案番号	議案名等	採決結果
議案第44号	東串良町職員定数条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第45号	東串良町国民健康保険基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第46号	東串良町税条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第47号	東串良町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	全会一致で原案可決
議案第53条	池之原小学校校舎増築工事請負契約について	全会一致で可決

陳情2件を採択

- ① 3つの医療費の現物給付（窓口無料）を求める意見書提出を求める陳情書
- ▼陳情者 西永 美智子（川西155915）
- ▼審査結果 全会一致で採択
意見書を鹿児島県県知事へ提出

② グラウンドゴルフ場早期実現についての陳情書

- ▼陳情者 東串良町老人クラブ会長 松田利三次（新川西4838）他4名
- ▼審査結果 全会一致で採択

議員提出、TPP協定関連の意見書を可決

- ◆ TPP協定を今国会で批准しないことを求める意見書
- ▼提出者 町議員 宮地利雄
- ▼審査結果 全会一致で可決
- 〈意見書の提出先〉
内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長

一般質問

8 議員が登壇

町政を問う

※内容は要約してあります。詳細は会議録(設置案内 P.13 に掲載)をご覧ください。

Q 予定価格の公表、
電子入札の考えは
前向きに検討したい



上園 ミキ 議員

上園 土木行政であるが、本町は指名競争入札だと思う。県、鹿屋市、肝付町、大崎町などは既に予定価格の公表及び電子入札に切りかえている。業者にとっても積算がしやすいということは言うまでもないが、入札に詳しい住民からも早くこの方法に切りかえるべきとの声もある。

町長 本町の土木に関する入札制度については、地方自治法等の規定により指名競争入札を行っている。

予定価格の事前公表は、情報公開の資することや、職員に対する予定価格を探る行為など不正行為の防止が可能となるなどのメリットがある。

一方、積算能力が不十分な事業者でも事前公表された予定価格を参考にして受注する事態が生ずるなどのデメリット

トが指摘されている。導入については慎重に検討していきたい。

上園 入札参加の公平から、



業者が自由に競争をできるように電子入札の導入を

自由な競争を確保すること及び競争性の向上を図ることが重要である。ぜひ検討ではなく、しますよということを一言言っていただきたい。

町長 隣接町も事前公表しているということなので、調査して、する前向きな姿勢で行いたい。

上園 前向きということは、するとということ的前提と捉えてよろしいか。

町長 そのとおりである。

Q 指名から外された業者の対応は

A 8月1日をもって一応入れることとした

上園 業者指名のあり方であるが、本町では入札参加意思のある者に対する参加機会の確保が不十分であったと思う。指名から外された業者に対する対応、今後どうするか。

町長 指名から外された業者など、そういうことは以前あったと思う。そうした業者については、今回8月1日をもって一応入れるということを実施した。

また、業者の指名については鹿兒島県の総合評定値に基づいた数字を参考にしながら、東申良町建設工事指名入札参加資格審査要綱に基づき格付を行った。この格付を基準として東申良町建設工事推薦委員会規定及び東申良町建設工事指名競争入札参加者指名基準実施要領により厳正に業者選定を行っている。

Q 地域包括支援センターの、 充実を図る考えは

A 社会福祉士など 2名を配置したい



泊 重巳 議員

泊 本町は高齢者福祉センター内に地域包括支援センターがある。包括的支援事業に係る人員基準は、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員（主任ケアマネジャー）が最低1人必要である。本町は保健師と主任介護支援専門員で対応しており、社会福祉士が配置されていない状況である。

理ではないかと思うが、今の体制で充分であるか。

町長 おおむねの業務は全て地域包括支援センターが行うこととなっているため、適切な人員体制を確保し機能強化を図ることとした。認知症初期集中支援チームを発足させ、集中的な支援をする予定である。

泊 地域包括支援センターの充実を図るため、地域包括支援センターを役場内に置き、仕事を分担し予防業務を福祉課全体で取り組む考えはないか。

町長 現在の包括支援センターの事務所は狭いので、少し広げて充実を図りたい。

泊 平成30年4月から在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進等の事業に、全国的に取り組むようになってきた。現在の職員体制では無

Q 要支援者の地域での支援は

A 町内事業者が受け入れるとの回答

泊 平成27年4月から、要支援者の方は訪問介護と通所介護が介護予防事業から除外され、市町村が中心となつて地域で支援をしていくことになるが、地域の体制作りはできているか。

町長 通所介護や訪問介護を行っている町内の事業所へ意向調査を行ったところ、おおむね全ての事業者から受け入れるとの回答を頂いている。

Q 福祉課を2分割する

A 2分割は考えていない

泊 現在の福祉課は、平成17年の行政改革により保健衛生課と統合し、保健衛生と福祉全般の仕事を担当している。職員・パートを含めると30人を超える大世帯である。福祉の充実、医療費の抑制を図るうえで、課を2分割する考えはないか。

町長 課を2分割することは考えていない。

Q 大隅鹿屋病院の無料相談、町民全体が活用できないか

A 検討する

泊 現在、唐仁の郷土資料館で月に1回大隅鹿屋病院より無料で相談を受けている。町民全体を総合センターで月に1回でもお願する気持ちはないか。

福祉課長 町民の方々のためにはなると思っているので、検討する。

Q いきいき体操など、交付金活用か

A 地域支援事業として取り組んでいる



みなさん笑顔で「いきいき体操」

泊 高齢者福祉センターで、一次予防事業として「いきいき体操」を、二次予防事業として「元気はつらつ教室」を開催しているが、どちらも地域支援事業として交付金を活用しているのか。

町長 いずれも介護保険事業で地域支援事業として取り組んでいる。

Q 保険税など 下げる対策は

A 特定保健指導に 取り組む

泊 本町は国民健康保険税や介護保険料が隣接町に比べて高い状況であるが、下げる対策を講じているか。

町長 今後も高齢化は進み、また医療費が年々高騰化することを考えれば国民健康保険税を引き下げることは難しいと思うが、特定保健指導の充実にも今後取り組む抑制していきたい。

永峯排水路の排水対策は

A 今年度、県が

調査を行う 結果を踏まえ、 検討する



牧原 完治 議員

牧原 永峯地区に流末がある排水路であるが、大雨時など岩弘地区から雨水が国道を横断し、池之原地区の定住団地等の家庭排水などとともに大量に流れ込んでくる。永峯排水路は小さいため、こうした大雨時など雨水が排水路から溢れ出し、隣接する農地が冠水やゴミなどの被害を度々受けている。

早急な対策が望まれるが、町長の考えは。

町長 永峯排水路は昭和59年度から昭和61年度に、県営シラス対策事業池之原地区として整備された。完成からもう30年が経過している排水路であるが、当時の営農体系や綱領で排水路の断面も決定されたものである。

しかしながら、近年の異常気象によるゲリラ豪雨や流域畑地帯のマルチ化による栽培



7月の大雨冠水後に町長も視察（雪山地区）

体系の拡大などで排水量も年々増加し、瞬時に流入する状況になっている。この結果、雨水等が排水路を越流して、

一部で農作物への影響を及ぼしている状況を確認している。このような状況を踏まえ、県に排水等に関する調査を要望したところ、今年度、県単独事業の農業農村整備事業土地改良トータルプランで調査を実施してもらうこととなった。現在、県において委託業務を執行しているところである。町としては、この調査の結果を踏まえ今後の排水対策を検討していきたい。

雪山のため池からの排水対策は

A 県の調査結果を踏まえ、 流末水路や土砂堆積の 検討を行う

牧原 雪山のため池からの排水が溜水の方に流れてくる。

7月末の大雨で雪山地区の水田に雑木や竹などが散乱するなどの被害が発生した。このことについては町長も視察しているが、何か対策を講じたのか。

町長 雪山ため池は、県営老朽ため池整備事業雪山地区として、平成4年度から8年度にかけて、各所から湧き水を貯水して下流域の水田へ用水を供する目的で整備された施設である。現在、雪山ため池の受益地の下流域では、県営圃場整備事業西牟田雪山地区の面工事が完了して、この用水についてはパイプラインとなり雪山のため池からの用水供給は不要となっている。しかしながら、大雨時は一次貯水池として役割も大きく重要な施設であるが、長年の土砂等の流入があり土砂が堆積している状況である。

このことについても、県で実施する土地改良トータルプ

ランの調査結果等を踏まえ、雪山ため池の流末水路や土砂堆積の対策について検討していきたい。

A ため池整備について 大崎町との協議は

今後、大崎町とも 協議が持てると思う

牧原 雪山ため池は平成8年に整備され、雪山土地改良区で管理されている。大雨の時などは、事前に洪水吐けを

開門しなければならぬが、職員もいない土地改良区では管理はできないと思う。そこで、このため池に流入する排水は全量大崎町からの排水であるので、ため池整備の時は大崎町長との事前協議はなかったのか尋ねる。

町長 そのことについては、私もまだ就任して6カ月であるので協議していない。今後、大崎町とも話が持てると思うので、その時出していきたい。



西園 貞美 議員

Q 明かりのついていないLED照明灯が何か所もある

A 定期的に点検を行い不良機器は修繕と対策を講じる

西園 LED照明灯の設置目的と稼働状況について尋ねる。
町長 LED照明灯は、平成21年度から年次的に設置を進め、現在84基が整備済である。

設置目的は、子どもたちの

通行上の不安解消、また、志布志国家石油備蓄基地で災害が発生した場合や自然災害発生時にライフラインが遮断された場合、LED照明灯を非常照明として活用する避難誘導路として位置づけている。平成26年度までに設置した



高額なLED照明。防災灯として機能しているか。

LED照明灯は、季節により時間的誤差も発生し、バッテリーの劣化を軽減するため点灯時間を日没後4時間の設定としている。平成27年度の整備からは製品選定の見直しを行い、機器の製造不良、点灯時間の改善を実施し、現在、日の入り・日の出まで点灯するように対策をとっている。

西園 明かりがつかないLED照明灯が何箇所もある。また、明かりがつかないところもある。夜中は消えている。
町長 照明灯が防災灯として機能していないと思うが。

実施したところ、1基が不点灯であったため修理依頼した。また、3基がバッテリー劣化による点灯が短時間となっていたためこれも補修依頼した。今後も月1回定期的に点検を行い、不良機器は修繕と対策を講じたい。

西園 LED照明灯は、1基が100万円以上する機械である。値段だけ高くて機能していないのが実態であるので、値段に合った機能のある照明灯の整備を要望する。

Q 8月末で、ふるさと納税の収納額は

A 3163万5800円である

西園 ふるさと納税の収納状況であるが、8月末でいくら集めているのか。

町長 8月30日時点で、3163万5800円である。

西園 今年の目標を1億円としている。6月議会で職員を大崎町に勉強に行かせると言ったが、行かせたか。

町長 職員は行かせた。大崎町は企業がやっているのを取り組んでいて、町独自では取り組んでいなかった。

Q ふるさと納税の

A 返礼品と送料合わせて50%で見直した

西園 8月8日の南日本新聞に掲載されていたが、2015年のふるさと納税の返礼品は給付額の全国平均で44.8%、本町は57.7%であった。本町は全国平均より13%も多く、大崎町はちなみに50.2%である。このことも勉強したほうがいいと思うが、

また、ふるさと納税に関するインターネットであるが、

本町のホームページは見にくいという声がある。ちなみに大崎町のインターネットは非常に見やすく一発でわかるといふことだ。インターネットの方法、あるいは契約会社を変えてみる気はないか。

企画課長 町のホームページも、現在、総務課の電算係と、いろいろと打ち合わせをして、逐次見やすい形で修正を行っている。もししばらく時間をいただきたい。

それから、返戻金の経費も一番高いということで、現在見直しを進め、9月いっぱいにおいて事業者の方々の御理解もいただき、寄附額の返礼品と送料まで含めて50%でいくようになっている。

西園 今年はパート職員を採用するなど取り組みを強化しているようだが、10億ぐらい獲得する意気込みでやっていただきたい。いつの日かどうなるかわからないが、町長がリーダーシップを発揮して大崎町以上に実績が上がることを願っている。



整備された柏原相撲場付近の有効的な活用を望む

Q 相撲場付近がきれいにされた今後の維持管理は

A 清掃維持管理業務委託料を今回の補正で計上した



瀬戸山 譲一 議員

瀬戸山 柏原の相撲場周辺の雑木等がきれいに伐採された。

今後、この状態をどのように維持管理していくのか。

町長 今回の一般会計補正予算で、観光費に柏原相撲場周辺の清掃維持管理業務委託料を計上した。

瀬戸山 松林にイノシシとマムシが確認されている。この対策をどうするのか。

町長 雑木林の解消に努めるとともに、イノシシについては経済課に捕獲わなを準備させる予定である。

瀬戸山 相撲場周辺がきれいになったので、柏原地区の振興について提言する。

歴史的価値のある相撲に特化した町の名物として仕立て上げるのはどうか。女相撲の温泉同好会はテレビでもおなじみである。このような有名人を呼んでエンターテイメント化することで肝付町のやぶさめのように万単位の集客も不可能ではないと思う。

そして隣接する農業改善センターを相撲関連事業で有効活用することは、更に柏原の活性化に貢献できるのではと考える。

Q 本町にエンディングノートはあるか

A 本町にはない。県医師会がマイライフノートを作成している

瀬戸山 町の予算の中に占める医療・介護にかかわる費用は莫大である。この厳しい財政難の中で絞られる医療・介護費の中で、人として尊厳ある終末期が問われている。

そこで、宮崎市などが作成しているが、医療費削減に資する目的と、元気なうちに自分の終末期の医療の選択を記

せるエンディングノートなるものは本町にはないのか尋ねる。

町長 本町では作成していないが、県では鹿児島県医師会作成の類似のマイライフノートという冊子がある。これについては町でも配付できるので、問い合わせさせていただきたい。

エンディングノートとは

自分にもしものことがあった時のために、残された家族が困らないように伝えておきたいことをまとめておくノートのこと。

Q 暮らしの保健室を支援できる政策基金は

A 利用可能な基金があるか検討する

瀬戸山 医療介護の補助を地域で取り組む唐仁の「暮らしの保健室」を、支援できる政策基金はないか尋ねる。

総務課長 基金の内容、状況を確認し利用可能なものについては慎重に検討させていただく。

Q PFI事業を本町でもできないか

A 本町も取り組んでみたいと、職員を対象に勉強会を開いた

瀬戸山 民間資金を活用して事業展開するPFI事業を本町でもできないか。隣の大崎町は既に検討段階に入っているが。

町長 PFI事業については本町でも取り組んでみたいと、先般、全職員を対象に勉強会を開いた。民間の資金や経営ノウハウ、技術ノウハウを活用して社会資本を整備し、住民に対して安く良質な公共サービスを、効率的かつ効果的に行うことができるということでありがたい事業だと思

う。PFI事業や県の観光事業等の導入を視野に入れ、観光振興にも力を注ぎたい。

PFI事業とは

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。

AED設置箇所 (H28年9月30日現在)

1. 保健センター (役場となり)	1台
2. 池之原小学校	2台
3. 柏原小学校	2台
4. 東串良中学校	2台
5. 総合体育館	1台
6. 総合センター	1台
7. 東串良物産館ルピノンの里	1台
8. 高齢者福祉センター	1台
9. 役場 1階ロビー	1台
10. 中央分団ポンプ車内	1台
11. 別府原分団ポンプ車内	1台
12. 新川西分団ポンプ車内	1台
13. 柏原分団ポンプ車内	1台
14. 女性消防隊車輦内	1台
15. 消防団本部車内	1台
16. 消防団本部貸し出し用	1台

児玉 平成28年度一般会計補正予算では、AED(自動体外式除細動器)を5台購入し、各分団と残り1台を予備として使用するとなっているが、どの場所で使用するのが尋ねる。



児玉 勇治 議員

Q AEDを5台購入するがどの場所で使用するのか
A 各分団のポンプ車と役場本部車に搭載する

町長 防災無線が配備された各分団のポンプ車と役場本部車に搭載する。使用は現場で心肺停止事案が発生した場合に活用するように配備するものである。

児玉 AEDを使用しているから、明日香さんは助かったら、

教育長 説明があったその点については、承知している。

児玉 2011年9月、埼玉市の小学校で、小学6年生の桐田明日香さんが駅伝の課外練習中に倒れ、死亡するという事故が発生した。しかし、学校に設置されていたAEDは使用されなかった。

Q アスカモデルを活用した授業を実施して
A AEDの操作方法等は種々訓練している

児玉 車両に積載し、非常時に現場で使用するという事で理解した。町内には9ヶ所にAEDが設置されているが、今後は人通りの多い豊栄の町や柏原郵便局等に設置すると、非常時に役立つと思うのでその方向での設置を要望する。

児玉 来年度の教育課程編成の際に、ただ今の件を取り入れて頂き、アスカモデルを活用した授業が実施される事を希望する。

教育長 本町は、AEDを各学校に2台ずつ設置している。AEDの操作方法等については、管理職研修会、体育主任研修会や養護教諭研修会等で重大事故発生時対応訓練など実施している。平成28年度は、教職員や保護者、中学2年生を対象に心肺蘇生法の訓練を実施した。今後あらゆる分野で、安全指導を行っていく。

児玉 来年度の教育課程編成の際に、ただ今の件を取り入れて頂き、アスカモデルを活用した授業が実施される事を希望する。

いたかもしれない。人が倒れた時、その場に居る人達に何が出来るのかを考えて行動する事や命の尊さを学ぶという事からも、小中学校からアスカモデルを活用した授業を実施してもらいたいと思うが、どう考えるか。



会議録の設置

定例会や臨時会の会議録は、次の町内3箇所に設置しています。

- ☆役場 1階ロビー本棚
- ☆福祉センター
- ☆総合センター

是非ご覧ください！

Q

にぎやかタウン雪山の 住民説明会後の 進捗状況は

A

住民からの 回答書により 不動産鑑定など委託中である



前田 隆 議員

前田

6月18日、にぎやかタウン雪山の土地陥没問題に関して住民説明会が開かれた。その後3か月が過ぎようとしているが進捗状況について尋ねる。

町長 住民説明会後に北側7軒の住民の方々から、それぞれ町の方針に対する希望回答書を提出いただいた。この回答内容に基づき、現在、不動産鑑定及び地盤調査の委託を行っている。不動産鑑定は今月末には結果が出る。地盤調査については既に結果が出ている。

また、西側隣接地への曳家による移転希望の方々もいるので、今後、個別に協議を進めたい。

Q

地盤調査の結果はどうであったか

A

コンクリート片、瓦片などが一部確認された

前田

地盤調査については結果が出たとのことであるが、どのような状況であったか。

企画課長

今回、地盤調査を行った所は盛土厚が1.5メートル程度と確認されている。その層には竹片とか軽石、それからコンクリート片、瓦片などが一部確認された。

Q

ボーリング調査後の穴の付近から陥没が始まっているところがあるが

A

20センチぐらいの穴で1メートルぐらい陥没している

前田

以前ボーリング調査をした時期は雨も降らず天気が良かった。しかしながら、

ボーリング調査をした後の穴の付近から陥没が始まっている所がある。空洞があるのではと予測されるが、空洞は確認されていないか。

町長

指摘の空洞については確認した。20センチぐらいの穴で1メートルぐらい陥没している。

ボーリング調査後の穴については砂や軽石等で処置が行われているが、中が空洞になつていたのは事実である。

Q

曳家見学会をする所があるが、職員など同行調査の考えは

A

職員も派遣する。住民へも参加を呼びかける

前田

住民説明会後の町の方針に対する住民の回答の中で、西側隣接地への曳家による移転希望の方々もいるとのことであった。町長も曳家希望の方についてはその方向で検討したいとのことである。

そこで、インターネットで検索したところ10月に静岡県浜松市で曳家見学会を開催する所がある。その家の家主等は引越しもせず、通常の生活をしながら工事が行われる内容である。

今後曳家について議会も検討するうえで調査に行きたいと考えているが、当局も職員を派遣して調査させることや住民にも呼びかけて見学させる考えはないか。

町長

職員も派遣して調査させる。また、住民の方々へも呼びかけ見学会へ参加してもらい曳家の概要について理解していただきたい。

前田

現在まで、にぎやかタウン雪山に使った調査費や工事費等はいくらか。

企画課長

2, 462万843円である。

前田

にぎやかタウン雪山は土地陥没問題が発生してから6年が過ぎようとしている。まだ1年も2年もずるずる引つ張るつもりか、それともここ短期間で解決しようと思うのか。

町長

今のままではいけないので、住民の方々と協議を重ね方向性を決め、1日も早く解決したい。

前田

ぜひ今年中に解決策を見いだしていくことを要望する。



静岡県浜松市での曳家見学会

Q 地方教育行政法の改正に どのような 評価をするか

A 基本的には これまでと大きく 変わることはない

基本的にはこれまでと大きく変わることはない



宮地 利雄 議員

宮地 地方教育行政法の改正が行われた。

改正の前身で主な内容は、第1に教育に関する自治体の首長の権限を強化した。教育長も町長が任命する。

2番目に、町長には教育分野の総合的な大綱を定める権限が与えられた。

第3は教育長の権限を大きく強化した。

教育長は教育委員会の指揮監督のもとで仕事をしていたし、また教育委員会の決議で教育長をやめさせるといふこともできたが、それらもできなくなった。このような改正に、どのような評価と対応をしているのか伺う。

教育長 改正の趣旨は、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図



法律が変わっても子どもたちにはより良い教育を！

るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るといふことである。
基本的にはこれまでと大きく

く変わることはなく、法にのっとって粛々と進めていくつもりである。

宮地 戦後、教え子を再び戦場に送るまいと多くの教育関係者が決意して、新たな憲法のもとで、教育基本法が定められた。しかし、どんどんこの内容が変わってきている。今の安倍内閣のもとでますますこの危うさが増している。教育の中立性、政治からの独立、そうした原則が冒されつつある。教育大綱を定める町

長は政治家である。つまり51対49の世界で動いているのが政治家だ。そういうところの勝者が教育の世界に土足で踏み込もうとしている。そんな危惧を持つ。

そこで、文部科学省は、今回の地方教育行政法について、法律のできたすぐ後に通知を出している。この通知は、教育委員会にはいろいろな決定権が現に残されていること、教育委員のいわば働きがい十分残されていることをはっきり文科相自身が認めた通知となっている。これを教育委員会の皆さんで十分に納得できるまで研究、学習が必要と思うが。

教育長 平成26年9月の第6回定例教育委員会の終了後、実施している。

Q 本町の学校施設の 耐震基準は

A 文部科学省の診断基準 を満たしている

宮地 熊本で大きな地震があり、耐震化は100%だといったのに大被害を受けた学校もある。その原因に、国が定めた地域地震係数があると指摘がある。この地域地震係

数は地域ごとに国が過去の地震記録などに基づいて設定したもので、耐震基準にこれを乗じて、建築基準法の耐震強度を低めることを認めるといふ内容である。なお鹿児島県は0・8となっている。つまり県内の小中学校の耐震基準は8割の強度でも基準をクリアしている、ということになる。

本町の学校施設は、国のこの係数を乗じた結果でクリアしているのか、それを加味しなくてもクリアしているのか、**教育長** 地域係数を加味しなくてもクリアしているのかということだが、文部科学省の診断基準を満たしているとしたら、答えられない。

(その他の質問)

● 子ども医療費の現物支給に伴う本町の負担について

● 介護保険から除外される場合のケアについて

議員派遣報告

再生可能エネルギーと

自治体&議員力アップin東京

10月5日〜6日議員力アップと称するセミナーに議員派遣で参加しました。政策提言も織り込み報告します。



報告者 議員 瀬戸山 譲一

「政策の基礎&最近のトピックス」

講師 永田潤子氏

トピックス① 少子化対策

対策案として次の2点を列挙された。本町に鑑みて私見も踏まえ述べる。

①高齢者の働き口の確保

年金受給年齢のアップが言われる中、高齢の方の労働参加が求められるようになっていく。

▼本町では、シルバー人材センターの新たなシステム作りを再考すべきと考える。

②女性活躍の場を創出

女性が働き続けると出生率が上がる統計がある。だから働く母親のための保育所の整備を充実させる必要がある。

▼最近本町でも女性消防団員



町消防団に女性消防団員が入団。もっと女性の活躍の場を！

の登場が話題になっている。稼げて自立できて、そして各方面から女性リーダーを輩出できるなら堅固な地域社会を築けるものと思う。

また、今回地方創生で認められた「暮らしの保健室」事業が女性参画のもと採算ベースに乗れば大きなインパクトを持つようになるだろう。

トピックス②

TSUTAYA、タニタ食堂

公共的な事業に民間活力を導入し利益を確保し、官民双方に配分した例として紹介された。

● TSUTAYA

DVDレンタル、総合書店としての機能を持ち合わせる会社として知られる。その強みから佐賀県武雄市の公共図書館に民間企業として参入。カフェも併設して利益を出せる図書館として話題になった。

● タニタ食堂

健康食、健康弁当で有名。(ほっともつとでも取り上げられている)このタニタ食堂が地方の公共給食に参入して高齢者への給食サービスを展開し、高齢者の健康増進に貢献、そして民間の利潤導入経営で給食サービス業に利益をもたらす一挙両得を狙った功

績で一躍注目を集めている。トピックス2のポイント

▼財政難の自治体に民間企業を参入させ官民双方で利益を分かち合うシステム作りを早急に自治体の議論のテーマにすべきということ。

そこには地域雇用も生まれ、地域でお金を回し地域に還元できる財政基盤ができる。

「再生可能エネルギーの基礎知識」

講師 岡田久典氏

台風16号の被害は相当なもので、停電もあった。時間にして数時間でも、なんとも不自由なものだ。電気のありがたさが身に染みてわかる。

この電気をはじめとしてエネルギーも自分たち自治体で賄っていくという動きが全国各地で起こっている。

ソーラー発電、バイオマス発電、風力発電、地熱発電などがあるが、それぞれの長所、欠点、介在する問題を踏まえこれからの地方エネルギー政策をどのように進めるべきかというセミナーだった。

再生可能エネルギー事業を地方の公共団体も取り組むべき事例として栃木県那須塩原の土地改良区がある。ここは、

一般質問でも述べたが、本町の様々な事業に民間資金を活用したPFI事業、そして民間企業の参入を促すべきだ。

そのために本町も総合的な具体的ビジョンを策定することから始めなければならぬ。つまり民間資金、民間企業が入ってきやすい素地作りをするということだ。

既設の用水路に小水力発電所を設けてその施設に電気供給すると同時に余剰分は売電し、その収入益は農業用水路等の維持に充当するというもの。(農林水産大臣賞を受賞)

岩弘から柏原までの用水路の水の移動エネルギーは相当なものと考えられる。そこに発電システムを構築する術はないものだろうか。パイプラインの需要電力を賄えないか色々考えを巡らせてもみた。

そして蓄電システムと組み合わせることで災害時の非常電源としても活用できることも編み出されている。電気のない厳しい生活を考えると、これからの防災対策にも応用できるかもしれない。

にぎやかタウン雪山土地陥没等に係る調査特別委員会調査報告

にぎやかタウン雪山の土地陥没問題に関して、町当局は昨年、土地の変状等について専門的な知見を持つ識者から意見を徴すべく「地盤調査解析業務委託」を実施しました。この結果により、補修工事の実施や不動産鑑定価格での買い取りなど町の方針を示し、住民に対して地盤沈下事案に関する希望確認を行っています。

一方、西側土地へのひき家を希望する方々もいたため、ひき家も問題解決への対策の一つとしています。このことから、当委員会ではひき家の概要について把握するため、今回調査を実施しました。



ひき家工事 生活しながら家が動く

1 調査日

10月18日(火)・19日(水)

2 調査地

静岡県浜松市浜北区豊保

3 工事内容

木造2階建住宅を、姿曳移動工法で新しく築いた基礎まで70メートル移動し、据え付けるもの。

姿曳移動工法とは・・・

H鋼及びびれールを土台の下に設置して、油圧ジャッキを集中管理し、建物をジャッキアップして基礎と土台を切り離して、新設した基礎に家屋を移動させ据付ける工法。

4 施工業者

有限会社ファーストハウス
(静岡県浜松市中区向宿)
日本曳家協会 会員

5 調査の概要

調査地付近は、浜松市の土地区画整理事業が行われている所であった。調査物件もこ



工事中、日常の生活ができる

の事業により道路拡幅工事が行われるため、約70メートル先に築かれた新基礎までのひき家工事を行っていた。工事発注者は家主で、工事の費用は移転補償費で家主が支払うものであった。

調査物件は、築23年の木造2階建住宅で、のべ床面積170・75㎡(51・7坪)、建物重量は46・5トンであった。工事着工は9月5日(新基礎工事着工日)、工事完成を11月30日(リフォーム工事完



移転先の基礎は通常の基礎よりも頑丈に造られる

了)としていた。

調査現場では、施工業者のファーストハウスによるひき家見学会が開かれており、当委員会の対応に代表取締役の中村氏があたられた。

当日は、ジャッキアップの作業中であり、残念ながら移動中の物件の確認はできなかった。移転先の基礎は既に完成しており、移転先までは1日で移動(1分間で約1メートル移動)できるとのことと、現工程から新基礎への据付まで3日ぐらいかかるということであった。

工事については、家主等が住みながらひき家を行うもので、移動に際して日常生活に支障がないよう電気、水道、ガス、簡易トイレなどが整備されていた。風呂については調査物件がユニットバスであったため、そのまま使用されていた。

なお、調査物件に係る一切の工事(新基礎工事、ひき家工事、既存基礎解体撤去等々)をファーストハウスが受注しており、工事に要する費用は総額で約1200万円であった。

6 意見

今回の調査の特徴は、にぎやかタウン雪山の住民、町当局、議会の三者が共通の抱えている課題で、共同で調査が実施できたことである。

また、ひき家工事の概要、工事予算、台風や地震などの際の工事の対応や保険の関係、工事後の補償、なぜ生活しながら工事ができるのか等々大いに把握できたことは、にぎやかタウン雪山の抱える問題を早期に解決するうえで、極めて有効な方策の一つを学んだところである。

町内の巡回活動

定期的に議員全員で町内を巡回し、道路等の危険箇所を調査しています。調査後、意見の集約を行い、町の所管課へ改善要求を行っています。



▲コバックを始点とする排水路
個人で排水路を造っており、少しの雨で溢れる。ブロックを積みかさ上げが必要



▲▼昭和用水路の橋（前田ラーメン裏の道路）
橋が狭く、車の通行が不便。管理敷地を改良するよう要望



◀安留地区の里道（宮貫神社への通り）
側溝をつけてもらいたい



★巡回 9 回目★
平成28年 8月 1日
巡回地 池之原地区
安留地区

危険箇所等調査してもらいたい所がありましたらご連絡ください。
【連絡先】 東串良町議会事務局 ☎ 0994-63-3132

議会を傍聴してみませんか😊

町政を知る良い機会ですのでぜひお越しください♪



12月議会は
9日からの
開会予定です

～手続き～
傍聴人名簿に
氏名と年齢を
記入するだけ
です📄

※本会議については、防災無線でお知らせします。



議長 田之畑 稔

高齢者の親睦と健康増進を！

会員の増強と環境の整備を！



東串良町グラウンド・ゴルフ協会
福満 速会長



このコーナーは、町民の意見を幅広く聴取し、行政に反映する目的で企画しました。

議長 高齢者福祉における健康増進対策が問われる中で、高齢者に適したスポーツとしてグラウンド・ゴルフが普及し、本町でも盛んに開催されています。

今回は、東串良町グラウンド・ゴルフ協会の福満速会長に話を伺います。協会の現状と活動状況についてお尋ねします。

会員一同 楽しく活動しています

福満 本町のグラウンド・ゴルフ協会の役員は、会長の私と副会長の吉田勝海氏、会計の堀口愛子さんの他理事4名で構成しています。

会員は現在、134名で、男子63名、女子71名です。

年間の大会開催は、町協会主催が5回と町主催のルーピン大会のほか、郵便局長杯、明光園大会、ルーピンの里大

会、永吉葬祭大会などがあります。また、県や他の市町の大会にも数多く参加しています。

議長 協会運営の課題についてお尋ねします。

会員の増強に努めます

福満 この協会は、グラウンド・ゴルフの普及・振興を図り、町民の融和と親睦を深め、併せて健康の保持・増進と生涯スポーツの伸展に寄与することを目的としています。

このことから老若男女問わず幅広くグラウンド・ゴルフを楽しんでいただくように、会員の増強に努めていきたいと考えています。

議長 行政への要望等があれば伺います。

競技場環境の整備を！

福満 現在利用している多目的広場は、芝の管理が不十

分で競技に支障をきたして困っています。専任の管理人で芝の管理をお願いします。また、周辺に木陰がなく夏場は熱中症の心配が絶えません。手洗い場を含め環境の整備を要望します。

議長 福満会長の今後の抱負を伺います。

子どもたちとのふれあいを！

福満 私たち役員は、協会の目的に沿って、会員一同の協力のもとに頑張っています。今後は子どもたちとのふれあいや親子家族のふれあいを目的とした大会の開催に取り組みたいと思います。

議長 高齢者の親睦と健康増進に果たすグラウンド・ゴルフ協会の役割は多大なものがあります。

協会の今後一層の充実とご活躍を祈ります。



輪和話のひろば



ほっとするひととき

「柏原女性学級」

今回は柏原の女性学級を紹介いたします。

柏原女性学級は10年以上前から行われており、柏原地域の50歳前後を中心に10人くらいで活動しています。

このコーナーは、町内のあちらこちらの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。町民の皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願ひします。



講師を招き人権について学ぶ

います。

代表の水溜悦子さんは

「お茶の作法も習いたい」

「今年もクリスマスケーキ作りが楽しみ」と生き生きと語りました。(代表は年1回の順番制だそうです)

取材を終えて

以前は全町的に婦人会が組織され、各集落にもありました。高齡化や共働き家庭の増加、集落単位の各種習慣の変遷と共に次々と消えてしまいました。

町の社会教育課では、なんとか自主的な婦人組織をと、地域婦人学級を立ち上げようと努力し、今日では4つの地域に婦人学級が組織されています。趣味や得手を生かしてさまざまな交流と学習の場を提供しています。同じ地域や仲間同士

のつながりを生かして疎遠になりがちな日常に新しい日々を迎えてはいかがでしょうか。

取材者 宮地 利雄

表紙の案内

町文化祭 ～豊栄・青葉保育園～



今年の文化祭も豊栄・青葉保育園の園児が和太鼓とマーチングの発表をしてくれました。いつの間にか大きく、たくましく成長した我が子の姿に保護者のみなさんも感動したことでしょう。

編集後記

9月議会では昨年度の決算審査が行われました。この決算審査の目的は事後検証と合わせて来年度以降の行政運営への改善、要望をまとめたものです。29年度の当初予算にどれだけ反映されているか、皆さんにも決算報告書と来年度予算を比較検討してもらえれば面白いのではないかと思います。

今年も選挙で明け暮れた一年でした。年明けには町長選挙、夏には参議院通常選挙、鹿児島県知事選挙、東京都知事選挙、そして秋には世界最大の選挙イベントともいえるアメリカ大統領選挙。特に大統領選挙はこれまでもまして賑々しくメディアで報道さ

れたように思いますが、この議会だよりが皆さんの手元に届く頃には新大統領が決まっていると思います。いつものことながら壮絶な選挙戦のエネルギーはどこから生み出されるのでしょうか。そしてそのエネルギーはどこに向かうのでしょうか。その結果われわれの生活はどう変わるのでしょうか。選挙戦だけでなく、その方向、結果にも注目していきたいと思ひます。

▼広報編集委員会

- 編集委員長 原田 猛
- 編集副委員長 瀬戸山 謙一
- 編集委員 泊 重巳
- 〃 前田 隆
- 〃 上園 ミキ
- 〃 宮地 利雄